再評価結果（平成１６年度事業継続箇所）

担　当　課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島威夫

事業名	一般国道２３０号　小金湯拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北海道開発局
起終点	自：北海道札幌市南区豊滝 至：北海道札幌市南区定山渓温泉東１丁目			延長	４．３㎞

事業概要

一般国道２３０号は、札幌市を起点とし、北檜山町に至る実延長約１５３㎞の道路であり、道央圏と道南圏とを結ぶ重要な路線である。

このうち小金湯拡幅は、休日を中心に慢性的な交通渋滞が発生しているため、交通の円滑化を図り、農産品物流の利便性向上や主要な観光地へのアクセス向上を目的とした延長４.３㎞の２次改築事業である。

Ｈ６年度事業化	Ｈ－年度都市計画決定	Ｈ１０年度用地着手	Ｈ１０年度工事着手

全体事業費	約８５億円	事業進捗率	５４％	供用済延長	０㎞
計画交通量	１６，３００台／日				

費用対効果分析結果	B／C	総費用 (残事業)/(事業全体)	総便益 (残事業)/(事業全体)	基準年
	(事業全体)　５．７ (残事業)　１４．４	２６/６７億円 事　業　費：26/ 67億円 維持管理費：0/ 0億円	３７９/３７９億円 走行時間短縮便益：372/ 372億円 走行費用減少便益：4/ 4億円 交通事故減少便益：3/ 3億円	平成１５年

感度分析の結果

事業全体について感度分析を実施

交通量変動　：B/C=６．２（交通量+10%）　B/C=５．２（交通量-10%）
事業費変動　：B/C=５．２（事業費+10%）　B/C=６．２（事業費-10%）
事業期間変動：B/C=５．１（事業期間+20%）B/C=６．２（事業期間-20%）

事業の効果等

・円滑なモビリティの確保（年間渋滞損失時間の削減が期待される）
・個性ある地域の形成（主要な観光地である定山渓温泉などへのアクセス向上が期待される）
他７項目に該当

関係する地方公共団体等の意見

札幌市を始めとする関係５市１町３村の首長で構成される北海道石狩地方開発促進期成会より、毎年事業促進の要望を受けている。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

平成１３年２月に「道路情報館」がオープン。

事業の進捗状況、残事業の内容等

事業進捗率は５４％であり、引き続き用地取得を進め、工事の進捗を図る。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

引き続き用地取得が順調に進んだ場合、平成１９年度頃に全線供用の予定である。

施設の構造や工法の変更等

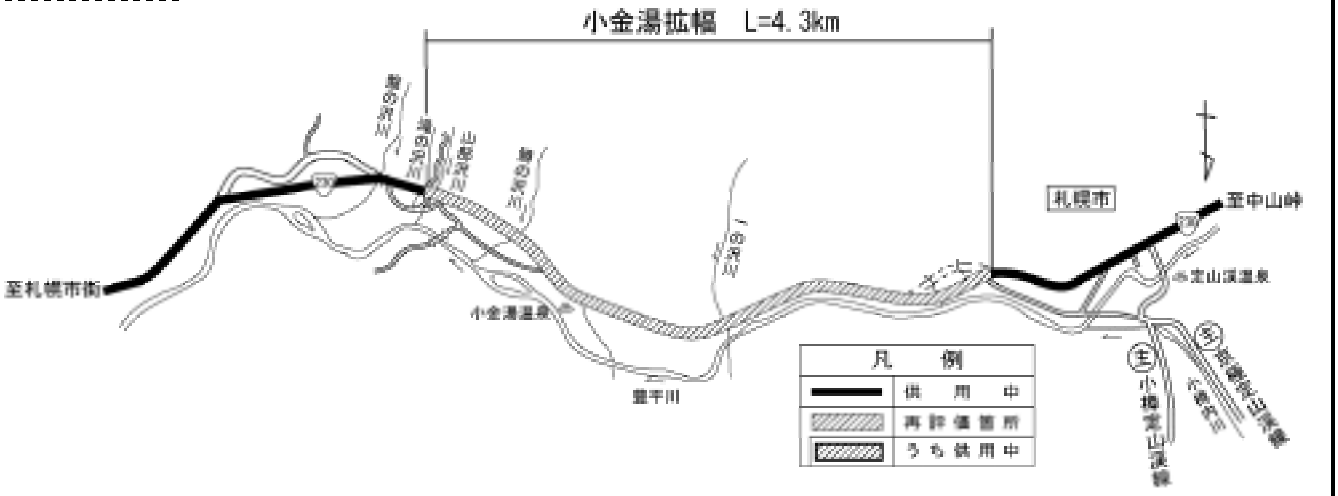
再生材の活用、不良土の改良による再利用、省力化構造物としての施工等によりコスト縮減を図っている。

対応方針　事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。